

平成18年度 第34回 茨城県ミニバスケットボール選手権大会 組合せ及び結果 (女子)

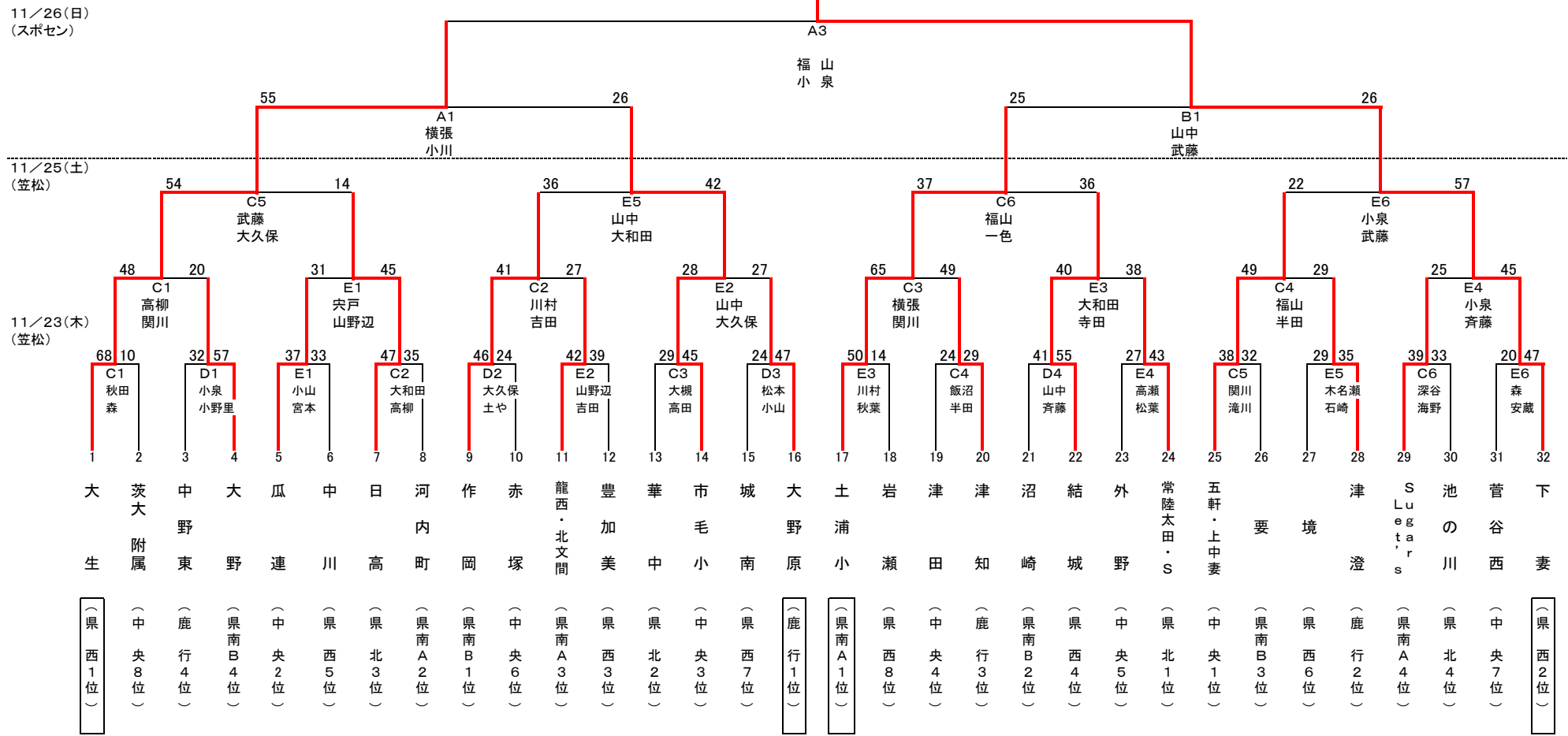
(出場枠)32チーム  
中央:8 県南A:4 県南B:4  
県北:4 鹿行:4 県西:8

11/23(木) A・Bコート(スポーツセンター)C・D・Eコート(笠松運動公園体育館)  
11/25(土) A・Bコート(スポーツセンター)C・D・Eコート(笠松運動公園体育館)  
11/26(日) A・Bコート(スポーツセンター)

1. 9:15~
2. 10:20~
3. 11:25~
4. 12:30~
5. 13:35~
6. 14:40~

優勝 下妻

0	-10-	4
9	-20-	15
3	-30-	6
12	-40-	4



女子決勝戦・選評 (谷川義宣氏筆)

1Q ジャンプボールを取った下妻がそのまま先取点をとってスタート。お互いマツーマンを敷く。大生は⑨⑩を中心に攻めるが下妻DFの前に得点できず、残り2分半でタイムアウト。下妻⑧の高さを生かして攻めるも互角のまま0-4下妻リード終了。

2Q 大生⑤、下妻⑥の得点で互角の始まり。大生は④を中心に反撃するも、下妻のプレスが効いて④を中心に加点して行き点差が14点となって後半へ。

3Q 両チームとも激しいマンツーマンで後半戦開始。出だし2分はお互い守りあいそれぞれ無得点。大生⑧のフリースローを皮切りとしてゲームが動き始める。大生は④⑥の1対1、下妻は3メンウィープでインサイドを攻めようとするが、お互いの好ディフェンスが得点を許さない。下妻⑤がブザービーターを決め12-25下妻13点リードで最終Qへ。

4Q 激しいディフェンスを展開し互いにターンオーバーとなる。残り5分大生のOFより落ち着き始める。④のシュートも入りペースを掴む下妻は残り4分からストーリングを始める。残り3分、大生は⑥の連続シュートで追い上げ開始。④のバスケットカウント、そして残り46秒、5点差にまで詰め寄る大生。防戦の下妻。一気に攻勢に出た大生の逆転なるか、下妻が逃げ切るか、息詰る攻防となる。下妻スローインミスも、大生もターンオーバー。下妻が逃げ切り選手権優勝を飾る。

